

新規に抗凝固療法を開始した高齢 COVID-19 患者に合併した特発性後腹膜血腫/腹直筋血腫の頻度と転帰に関する研究

1. 研究の対象

2020 年 3 月～2022 年 2 月に新型コロナウイルス感染症のために当院に入院された 65 歳以上の方で、入院中に新たに抗凝固療法（未分画ヘパリン、低分子ヘパリン、ワーファリン、直接経口抗凝固薬のいずれか）を行われた方。

2. 研究目的・方法

特発性後腹膜血腫/腹直筋血腫（以下 SRH/RSH）は、特に抗凝固療法中の高齢者に合併する稀な出血性合併症です。高齢者は新型コロナウイルス感染症（以下 COVID-19）の重症化リスクが高いため、しばしば入院加療が必要になります。COVID-19 は、肺塞栓をはじめとした血栓性合併症により重篤な経過を辿ることがあるため、その予防のために抗凝固療法を行うことが推奨されています。以上から、COVID-19 に対して抗凝固療法が行われている高齢患者さんは SRH/RSH のリスクが高いと考えられますが、その合併率はよくわかっていません。

そこで 2020 年 3 月から 2022 年 2 月に当院に入院された 65 歳以上の COVID-19 患者様で、入院中に新たに抗凝固療法を開始された方を対象に、SRH/RSH やその他の出血性合併症の発生率を調査することを目的とした研究を行います。

研究期間：承認日～2023 年 12 月 31 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、治療内容、血液検査所見、検査画像所見 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：細田智弘

資料 3

川崎市立川崎病院感染症内科

住所：神奈川県川崎市川崎区新川通 12-1

電話：044-233-5521（代）

-----以上